NEWS RELEASE

株式会社
セブン-イレブン・ジャパン

2026 年 10 月 29 日

オリジナル商品で使用するラベルの環境負荷を軽減
環境配慮型の新素材を採用した実証テストを開始

～弁当の一部に「Treeloop Thermal™」を採用 千葉県の一部店舗で発売～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津知洋）は、オリジナル商品に用いるサーマルラベルの環境配慮型素材への切り替えに向け、千葉市、成田市内の一部店舗（約 300 店舗）にて、実証テストを開始いたします。

本テストでは、大阪シーリング印刷株式会社（本社：大阪市天王寺区、代表取締役社長：松口正）と連携し、木材由来のクラフトリグニンを顕色剤の一部に配合した「Treeloop Thermal™」を採用したサーマルラベルを、一部の弁当商品（約 15 アイテム）に使用します。今回のラベルはサーマル材料（紙以外の部分）を、10～20%天然物由来材料に置き換えており、実証テストの結果を踏まえ、サーマルラベルの素材を順次拡大することで二酸化炭素の排出量の削減を見込んでいます。

昨今、世界情勢を背景にエネルギーや素材の価格高騰が懸念される中、当社では、紙素材等の活用、容器の軽量化、リサイクル素材を使用した容器の実用化など、環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてまいりました。今後も、環境負荷低減と資源循環の推進を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

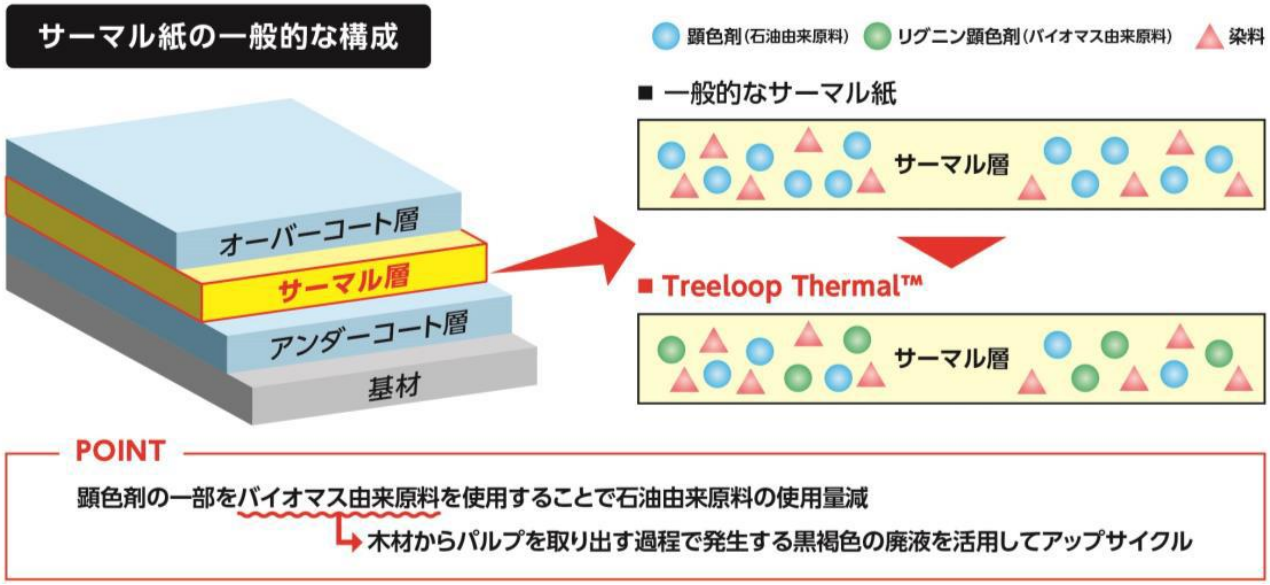
■大阪シーリング印刷株式会社について：

大阪シーリング印刷株式会社

大阪シーリング印刷は OSP グループの中核企業で、創業 1927 年以来、顧客ニーズや社会環境など時代の変化に対応して事業範囲を拡大してまいりました。現在では、シール・ラベル、フィルム製品、紙器パッケージ、販促物の企画・デザイン、製造を通じて、社会とお客さまの生活を豊かにする製品やサービスを提供しています。OSP グループは、計 17 社(国内 10 社・海外 7 社)を展開するグローバルパッケージグループで、食品流通を主とした社会インフラの使命を果たすために全国 19 ヵ所に生産拠点があります。高品質かつ安定供給を実現するために、グループ内で資材調達、シール・ラベルの印刷用原紙や印刷周辺機器の開発・製造、ラベリングシステムの設計、研究開発に至るまで多岐にわたり展開しています。

URL：https://www.osp.co.jp/

木材由来のバイオマス素材を使用したラベル「Treeloop Thermal™」



サーマルラベルは、サーマル層内の顕色剤が熱により溶解・接触し、化学反応で染料を黒く発色させることで印字されます。本製品は、顕色剤の一部に、木材由来のバイオマス素材であるクラフトリグニンを使用したサーマルラベルです。クラフトリグニンは、木材からパルプを取り出す製紙工程で発生する黒液に含まれる成分です。黒液由来のクラフトリグニンを顕色剤の原料として活用することで、廃液のアップサイクルおよび石油由来原料の使用量削減につなげています。また、ライトブラウンのクラフト色調を採用することで、自然で温かみのある印象を演出します。

＜ご参考：石油由来の原料、プラスチック削減の取り組み＞

◆惣菜、麺類等で使用しているプラスチック容器の 100%リサイクル素材容器の実用化
https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2026/202606181100.html

◆パスタの紙素材に変更、弁当の一部に「マスバランス方式」を採用
https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2025/202511121500.html

◆チルド弁当に使用する容器をプラスチックから紙素材に変更
https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2020/2020060809.html

◆「カップデリ」のフタをトップシール型（フィルム）に変更

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2020/20200518160001.html

◆サンドイッチの包材の一部を紙素材に置き換え

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2021/202107211500.html

以上